

2	水道局	環境負荷の低減に向けた新エネルギー等の導入
事業概要	<p>当局の膨大な電力消費により、地球温暖化の要因となる二酸化炭素など温室効果ガスが大量に排出されている。このため、太陽光や水力などの自然エネルギーの有効利用やエネルギー効率の高いシステムの導入など、環境負荷の低減に向けた新エネルギー等の導入を積極的に展開していく。</p>	
これまでの経過	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 太陽光発電設備の導入（運用開始） <ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年度 東村山浄水場配水池上部</li> <li>平成11年度 小河内貯水池湖面及び陸上</li> <li>平成16年度 高月浄水所ろ過池覆がい上部</li> <li>平成17年度 朝霞、三園、小作浄水場ろ過池覆がい上部</li> <li>平成19年度 東村山、長沢、金町、三郷浄水場ろ過池覆がい上部</li> </ul> </li> <li>2 コージェネレーションシステムの導入（運用開始） <ul style="list-style-type: none"> <li>平成10年度 東村山浄水場</li> <li>平成12年度 金町浄水場（PFIモデル事業）</li> <li>平成17年度 朝霞、三園浄水場（PFI事業）</li> </ul> </li> <li>3 水力発電設備の導入（運用開始） <ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年度 東村山浄水場</li> <li>平成16年度 南千住給水所</li> <li>平成20年度 亀戸給水所</li> </ul> </li> <li>4 燃料電池の実証試験（実施期間） <ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年度～平成16年度 三園浄水場</li> </ul> </li> <li>5 NaS電池の導入（運用開始） <ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年度 新町、江東給水所（賃貸借契約）</li> </ul> </li> </ol>	
現在の進行状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 太陽光発電設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 東村山浄水場配水池上部の太陽光発電設備の発電電力は施設内で使用している。</li> <li>(2) 小河内貯水池の太陽光発電設備の発電電力は、「奥多摩水と緑のふれあい館」等で使用している。</li> <li>(3) 8箇所の浄水場等のろ過池の覆がい化に併せた太陽光発電設備の発電電力は各施設内で使用している。</li> <li>(4) 小作浄水場において、平成22年度運用開始に向け、配水池上部に太陽光発電設備の設置工事を実施中である。</li> </ul> </li> <li>2 コージェネレーションシステム <ul style="list-style-type: none"> <li>東村山、金町、朝霞及び三園浄水場のコージェネレーションシステムの発電電力は各施設内で使用し、排熱はスラッジ加温に用いて脱水効率を高めている。</li> </ul> </li> <li>3 水力発電設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 東村山浄水場、南千住及び亀戸給水所の水力発電設備の発電電力は各施設内で使用している。</li> <li>(2) 八雲給水所において、平成22年度運用開始に向け、小水力発電設備の設置工事を実施中である。</li> </ul> </li> <li>4 NaS電池 <ul style="list-style-type: none"> <li>単年度ごとの賃貸借契約に基づき運用している。</li> </ul> </li> </ol>	
見通しの	<p>引き続き太陽光発電設備や水力発電設備などの導入について検討を行い、今後も温室効果ガスの低減を図るなど、環境に配慮したエネルギー施策に取り組んでいく。</p>	
問い合わせ先	水道局 浄水部 設備課	電話 03-5320-6454